

豊川市

議会だより

No. **207**
令和5年11月1日



TOPICS

- P. 2 大雨災害の支援が決定
- P. 4 4年度決算を認定
- P. 8 一般質問で14人が市政を問う
- P.13 委員会の開催状況

表紙写真

- 豊川稲荷大提灯(豊川稲荷)
- 令和3年11月20日撮影
長谷川 進(中条町)

表紙写真を一般募集しています。
詳しくは裏表紙をご覧ください。

令和5年7月臨時会 (7月21日)

6月2日の大雨による災害に関する補正予算などを可決！

自動車や住居に被害を受けた方への新たな支援が決まりました

7月21日に開催された臨時会では、主に6月2日の大雨による災害に関する補正予算が提出されました。補正予算の内容は、被災した自家用車を対象とした災害見舞金や、被災直後に実施した道路や施設の復旧に要する経費などで、審議の結果、全て原案可決となりました。

市議会では、6月定例会の緊急質問などにおいて、大雨による被害を受けた方に対する新たな支援を検討するよう市へ要望しており、この臨時会で以下の3つの支援が決まりました。

7月臨時会で決まった支援の内容

- ・ **水没等自動車災害見舞金の支給**
廃車は1台当たり3万円、修理・点検は1台当たり1万円 (対象：災害当時、市内在住の個人)
- ・ **床下浸水災害見舞金の支給**
1世帯主当たり5千円 (対象：災害当時、市内に住所を有する被災世帯の世帯主)
- ・ **水道料金、下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の減免**
6月から10月使用分までのうち、2カ月分を規定に基づき減免
(対象：住居が床下浸水以上の被害を受けた、水道・下水道などの個人利用者)



支援の詳細はこちら

議決状況の一覧



ホームページ
(議案の内容)
はこちら

7月臨時会 ○賛成 ×反対

未来一とよかわ未来 (18) 公明一公明党市議団 (3) 共産一日本共産党豊川市議団 (2) 清廉一清廉の会 (2) 無会派一一人会派 (4)
※ () 内は所属人数で、議長は表決に加わりません。

議案名	会派別賛否状況					議決結果
	未来	公明	共産	清廉	無会派	
56 5年度一般会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	○	可決
57 5年度水道事業会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	可決
58 5年度下水道事業会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	可決
報告9 損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	—	—	—	—	—	報告

報告9については、報告のみで採決はありません。

令和5年9月定例会の会期日程

- 8月28日 本会議 開会 会期の決定、議案の提案説明など
- 8月31日、9月1日、9月4日 本会議 一般質問 ◎8~12ページに各議員の主な質問を掲載しています。
- 9月6日 本会議 中日 議案に対する質疑、議案の委員会付託、一部の議案の採決
決算特別委員会 委員長・副委員長の互選など
- 9月8日 常任委員会 (総務委員会・福祉委員会)
- 9月11日 常任委員会 (市民文教委員会・産業建設委員会)
- 9月12日 政策課題調査特別委員会 } 付託議案・請願・陳情の審査、所管事務調査など
◎13・14ページに政策課題調査特別委員会及び産業建設委員会の内容の一部を掲載しています。
- 9月13日、9月14日、9月15日 決算特別委員会 4年度決算の審査 ◎4ページに主な質疑を掲載しています。
- 9月20日 予算特別委員会 5年度一般会計補正予算の審査 ◎3ページに質疑を行った主な項目を掲載しています。
- 9月22日 本会議 閉会 委員会の委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決
◎6ページに主な討論を掲載しています。

令和5年 9月定例会

会期 8月28日～9月22日(26日間)

5年度一般会計補正予算をはじめとした13議案のほか、4年度各会計の決算認定14件、報告7件が提出されました。そのほか、請願2件が審議されました。

また、14人が一般質問を行いました。

議案審議



一般会計補正予算（第5号）

※議案審議の内容は抜粋したものです。詳しくは7ページの議決状況の一覧またはホームページをご覧ください。



ホームページはこちら

5年度の事業を行うに当たり、予算に不足が生じたものなどについて、その内容や理由を確認し、審査しました。主に予算特別委員会で質疑が行われた項目を紹介します。

原案可決

歳出

○管理運営費（528万円追加）

障害者入浴施設でとり館において、入浴用ライナーリフトを更新するため、事業用器具費を追加するもの。

○災害救助費（1600万円追加）

6月2日の大雨により自家用車が被災した者に対して支給する自動車災害見舞金について、当初見込みを超える申請があったため追加するもの。

○予防接種健康被害調査費（88万円追加）

国の審査会において、新型コロナウイルスワクチンの副反応による健康被害が認定された被接種者に対し、予防接種健康被害給付金を給付するため追加するもの。

○ごみ収集管理運営費（2億3667万3千円追加）

6月2日の大雨により発生した災害廃棄物について、地域の仮設集積場などからの収集運搬委託料及び処理等委託料を追加するもの。

○被災農業者経営再建支援事業費補助金（2億1600万円追加）

6月2日の大雨により被災した農業者等に対し、農業用施設の復旧や機械設備の購入等に対する支援のため、被災農業者経営再建支援事業費補助を追加するもの。

○都市公園維持管理費（4065万円追加）

くすのき公園はじめ57カ所の樹木伐採などのため、樹木管理委託料2934万円、牛久保駅通公園フェンスはじめ3カ所の補修工事費631万円などを追加するもの。

○負担金等（299万9千円追加）

6月2日の大雨により修学旅行が延泊となった金屋中学校及び一宮中学校に対する、修学旅行延泊料等補助を追加するもの。

○応急復旧費（1201万4千円追加）

6月2日の大雨により被害のあった、御津山遊歩道の倒木撤去に要する経費について、復旧作業委託料26万4千円、牛の滝遊歩道及び宮路山自然遊歩道の復旧に要する経費について、復旧工事費1175万円を追加するもの。



歳入

○ラーケーション推進事業委託金（1865万6千円追加）

「ラーケーションの日」導入に係る経費に対し、ラーケーション推進事業委託金を追加するもの。

①ラーケーションの日

公立の小中学校等における、「学習（ラーニング）」と「休暇（バケーション）」を組み合わせた、新しい学び方・休み方ができる日。



詳しくはこちら

4年度 一般会計決算 などを



9月13日から15日の3日間にわたり、決算特別委員会が開かれました。一般会計・特別会計・企業会計について、4年度の決算を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認しました。

ここでは、一般会計の審査内容や決算概要の一部を紹介します。

決算特別委員会

決算の認識を問う

一般会計決算について

総括質疑を行った各会派の主な質疑・答弁

とよかわ未来

【問】市政全般における決算の認識は。

【答】 マニフェストに沿った主な事業として、八幡地区の大規模商業施設のグラウンドオープンに向けた道路基盤整備や、赤塚山公園・豊川公園の再整備、高齢者後付け安全運転支援装置設置費補助等の交通安全対策、産前産後サポートセンターくるみの開設、消防団員の処遇改善などに取り組んだ。
マニフェスト以外の主な事業では、物価高

騰対策として、おこめ券の配布やプレミアム付き商品券の発行など、市民生活や中小事業者への直接的な支援を実施した。

マニフェスト工程計画等に基づく各種施策を積極的かつ着実に実施しながら、社会情勢を注視した施策を推進するなど、市政運営に誠心誠意取り組んだ。
【問】 行政デジタル化の具体的な成果は。
【答】 児童手当の受給申請などの子育て関係手続きをはじめとする31の手続きについて、国のマイナポータル

公明党市議団

【問】 子育て支援施策について、重点的に取り組んだ主な事業の内容と成果は。

【答】 子ども食堂支援事業では、食事の提供を通して居場所を提供する子ども食堂の運営事業者に対し、年額6万円を上限として、運営に係る補助金を交付した。補助制度を設けたことにより、新規開設を促し、既存運営事業者の安定的・継続的な活動の下支えにつながった。
保育所の整備及び保育サービスの拡充では、老朽化した小坂井

東保育園の園舎改築事業などを進めた。また、市内で初めて医療的ケア児の受け入れを行い、専任の看護師を配置し、地域の中で子供が友達と共に成長する環境を提供した。

【問】 出産・子育て応援事業では、国の新しい事業として、妊娠期から身近で相談に応じ、支援につなぐための伴走型相談支援と、出産応援ギフトとして妊婦一人当たり5万円、子育て応援ギフトとして子供一人当たり5万円を交付する経済的支援を一体的に実施した。



日本共産党豊川市議団

【問】 一宮地区公共施設再編整備事業をはじめとする施設整備を進めるに当たり、建設業界の人材不足や資材価格上昇等による工期延長の考えは。
【答】 一宮地区公共施設再編整備基本計画では、5年度に基本設計、6年度に実施設計を行い、7年度から建設工事に着手する予定。今後の物価高騰や労務単価引き上げの動向等を注視しつつ、適正な工程管理計画に基づき遅滞なく取り組むこととし、現時点で大幅なスケジュール変更は考えていない。

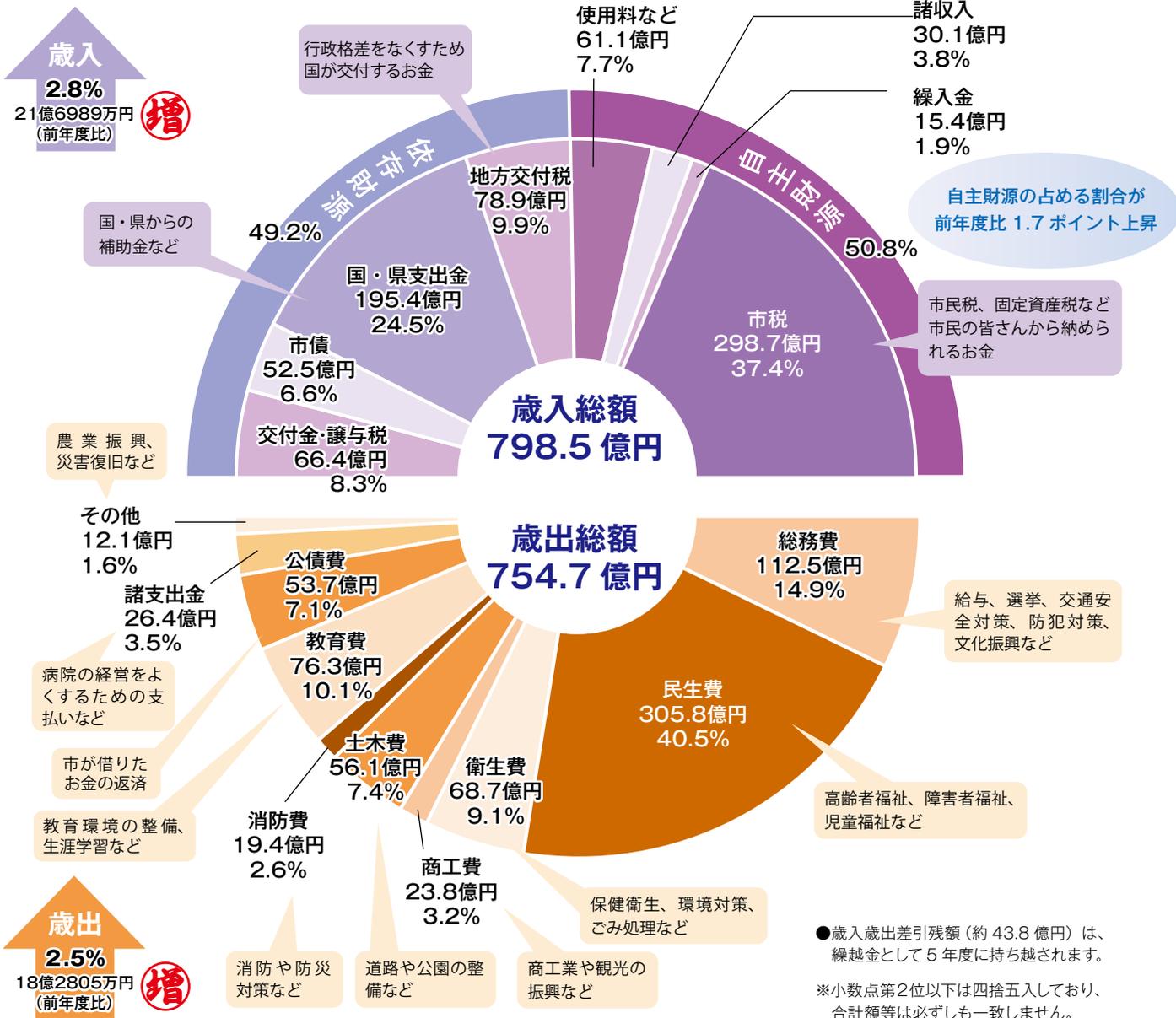
総合保健センター（仮称）整備事業、消防署本署改築事業等についても、同様の考え方により取り組む。

一般会計決算の内訳

どうなっている？
市の財政状況



©いなりん



●歳入歳出差引残額(約43.8億円)は、繰越金として5年度に持ち越されます。
※小数点第2位以下は四捨五入しており、合計額等は必ずしも一致しません。

4年度に実施した 主な事業 を紹介します

※1万円未満は四捨五入しています。



●物価高騰対応生活支援事業
5億6878万円
コロナ禍における物価等高騰対策として、市民の暮らしへの支援を図るため、おこめ券を全市民に配布



●赤塚山公園充実事業
4億4588万円
5年度のリニューアルオープンに向け、水の広場、アニアニまある、大型遊具などの再整備工事を実施



●八幡駅周辺地区整備事業・蔵子線整備事業
9億8342万円
大規模商業施設及び公共施設等の複合的な地域拠点の形成に伴う道路改良工事などを実施

本会議で行われた 主な討論

※会派別賛否の状況については、7ページの議決状況の一覧でご確認ください。

認定第1号

4年度一般会計決算の認定

認定

賛成

多くの課題や市民ニーズに適切に対応している



歳入では、市債について、中央図書館の空調設備改修事業に係る教育債等が増加したものの、借入額を元金償還額以内に抑えるなど、将来負担をできる限り軽減することに努めている。

歳出では、人口増施策として、大規模商業施設の開業に向けた八幡駅周辺地区の交通安全対策や道路基盤整備を、子育て支援施策では、子育て応援金の支給などを実施した。また、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応として、生活支援事業などの支援策に取り組んだ。

多くの市民要望や課題に加え、感染症の拡大や物価高騰により新たに生じた課題についても適切に対応しており、賛成する。

反対

大企業より地域の要望、大型建設事業より老朽化対策を優先すべき



まず、市民より大企業優先のまちづくりである。八幡地区周辺道路整備費に10億円以上を充てたが、市民が望む、地域要望の道路等の整備を優先するべきである。

次に、新型コロナウイルス対策としての給付事業の多くは、低所得者層の一部が支給対象であり、全市民対象の支援が不十分である。

また、大型建設事業計画を推進する一方で、文化会館や学校施設等の老朽化に対応する修繕や整備が遅れている。大型建設事業を見直し、文化・学校施設の改築や雨漏りの修繕、体育館へのエアコン設置等の整備を優先するべきであり、反対する。

請願第1号

小中学校給食の無償化等を求める請願

【請願者】中村 優子

趣旨採択

趣旨採択

保護者の負担軽減につながる賛同できる施策だが、財源確保が課題

保育園等の給食費無償化には、現在の減免事業費に追加して約1億4500万円が必要で、財源の一部としている国の交付金は、今後の継続が不確定である。また、高校卒業までの通院医療費無料化には、約1億2800万円が必要である。

市の財政状況を考慮すると、各事業の拡充は財源確保が課題となることから、実施に当たっては検討が必要であり、趣旨採択が適当である。

【請願の要旨】
物価高騰に見合って給料が上がらず、解雇や仕事が減るなどの状況も少なくない中、その影響を受ける子育て世帯への支援が今切実に求められています。

保育園等の給食費無償化の継続・実施と、子ども医療費を高校卒業まで、通院も無料にすることを求めます。

採択

日本一子育てしやすいまちを目指し、子育ての金銭的な負担を軽減したい

市長の新しいマニフェストでは、保育園・幼稚園の給食無料化や、高校生世代の通院医療費無料化が発表されている。

子育てするなら豊川市、子育て日本一を目指す豊川市として、市民の願いである、子育ての金銭的な負担の軽減に向けて、採択すべきである。

ライブ中継・録画配信 を行っています!

本会議の様子は、インターネットでの中継及び配信を行っています。ぜひご利用ください。

※右のQRコードからアクセスできます。



豊川市議会 議会議中継

会議名一覧	議員名一覧	表示設定	動作環境
令和5年第3回定例会 - 8月28日 初日			
ご覧になりたい発言を選択ください。			
開会、議席の一部変更、会議録署名議員の指名、会期の決定、政策課題調査特別委員の選任			再生
提案説明(第59号議案~第71号議案、認定第1号~認定第14号)			再生
採決議案(提案説明【報告第10号~第16号】、質疑)			再生

▲お知らせ

ここをクリックしてください。

議決状況の一覧

■9月定例会 ○賛成 ×反対 (請願は、○は採択、△は趣旨採択、×は不採択です。)

未来一とよかわ未来(19) 公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(2) 清廉一清廉の会(2) 無会派一1人会派(3)
 ※ ()内は所属人数で、議長は表決に加わりません。

議案名	会派別賛否状況					議決結果
	未来	公明	共産	清廉	無会派	
59 5年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	×	○	○×	可決
60 5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
61 5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
62 5年度病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
63 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	×	○	○×	可決
64 災害派遣手当の支給に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
65 保育所条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
66 火災予防条例の一部改正	○	○	○	○	○	可決
67 市道路線の廃止	○	○	○	○	○	可決
68 市道路線の認定	○	○	○	○	○	可決
69 市役所北庁舎空調設備改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	可決
70 4年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	可決
71 4年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	可決
請願1 小中学校給食の無償化等を求める請願	△	△	○	△	○△	趣旨採択
請願2 小中学校給食の無償化等を求める請願	×	×	○	△	○×	不採択
認定1 4年度一般会計決算の認定	○	○	×	○	○×	認定
認定2 4年度東三河都市計画事業豊川西部土地区画整理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定3 4年度東三河都市計画事業豊川駅東土地区画整理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定4 4年度公共駐車場事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定5 4年度国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	×	○	○×	認定
認定6 4年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	×	○	○×	認定
認定7 4年度土地取得特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定8 4年度一宮財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定9 4年度赤坂財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定10 4年度長沢財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定11 4年度秋財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定12 4年度水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	認定
認定13 4年度下水道事業決算の認定	○	○	×	○	○×	認定
認定14 4年度病院事業決算の認定	○	○	×	○	○×	認定
報告10 4年度内部統制評価報告書	—	—	—	—	—	報告
報告11 損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告	—	—	—	—	—	報告
報告12 4年度一般会計継続費の精算	—	—	—	—	—	報告
報告13 豊川市土地開発公社の4年度事業報告	—	—	—	—	—	報告
報告14 株式会社本宮の経営状況	—	—	—	—	—	報告
報告15 公益財団法人豊川市国際交流協会の経営状況	—	—	—	—	—	報告
報告16 公益社団法人豊川文化協会の経営状況	—	—	—	—	—	報告

報告10～16については、報告のみで採決はありません。

3日間
14人の
一般質問
市政を問う!

井川 郁恵 「認知症施策」	安間 寛子 「6月2日の豪雨被害の教訓からの防災対策の改善」「暑さ対策で、『熱中症ゼロ』へ」ほか
松井 俊満 「健康づくりに対する支援」	佐藤 郁恵 「葦子二区等の水害対策と雨水管理総合計画」「学校給食の無償化」
松下 和司 「雨水浸水対策の現状と課題、取り組み」	八木 月子 「災害における避難への対応」
深谷 崇允 「公共施設の脱炭素化対策」	遠山 剛 「浸水被害後の生活再建」
鈴木 佳孝 「豊川市内を流れる河川の管理」「豊川市の観光資源・魅力発信」	富田 潤 「豊川市の保育所」
林 正子 「インボイス制度導入への対応」	木本 朗善 「地域コミュニティにおける拠点の役割と機能」
倉橋 英樹 「小中学校での学校事故」「公共事業における支払い事務」	今泉 淳乙 「本市の農業」

一般質問

とは、議員が市に対して、市政全般にわたる事務の執行状況や今後の方針などを質問することです。質問時間は、議員1人当たり30分です。(答弁の時間を除く。)

ここに掲載した内容は抜粋したものです。市のホームページで公開するインターネット録画配信で、全ての内容を視聴できます。議員ごとに掲載しているQRコードをスマートフォンなどで読み取るか、市議会ホームページの「インターネット議会中継」よりご覧ください。



認知症に関する図書館コラボ展示

【問】 認知症初期集中支援チームの取り組みと活動状況は。

【答】 医師・保健師・社会福祉士各1名のチーム員が当事者と家族を訪問し、地域での生活が維持できるよう、3〜6カ月の期間で自立生活に向けた支援を行う。4年度は相談が



井川郁恵

認知症施策について



【答】 認知症カフェ体験の開催や、当事者と認知症サポータースタッフアップ講座の受講者をつなげた豊川市版チームオレンジの設置など。認知症になっても安心して暮らせる予防と共生の地域づくりを推進していく。

【問】 5件あり、全て医療や介護につないだ。

【問】 図書館等で本を活用して認知症の情報発信を行う先進事例があるが、市の考えは。

【答】 8月17日から9月19日まで、図書館コラボとして中央図書館で特別展示を行った。

【問】 市の今後の取り組みは。



松井俊満

健康づくりに対する支援について



②健幸マイレージ事業

本市では、平成27年5月から開始し、対象者は18歳以上の市内在住・在勤の方。健診受診などでポイントが貯めると、県下共通で様々なサービスを受け取ることができ、市内協賛企業から提供された賞品の抽選にも参加できる。

【問】 健診結果を踏まえて行う事業の状況と課題は。

【答】 生活習慣病の重症化予防対策として、保健師などが電話での個別相談や個別訪問などを行うハイリスクアプローチを実施。課題は、自身の問題として捉え、生活改善につな

【問】 今後の展望は。

【答】 子供版健幸マイレージを行う市町村もあり、若年層を巻き込む親子チャレンジなどは効果が見込まれる。自然に、楽しみながら健康づくりが継続できる仕組みを進めたい。

【問】 健診結果を踏まえて行う事業の状況と課題は。

【問】 健幸マイレージ事業の参加者増加のための創意工夫は。

【答】 企業チャレンジとして、社員一人一人が事業に取り組み、それを事業所単位で団結して取り組む仕組みを創設。職員規模で参加率を設定し、達成企業に感謝状を贈っている。

③事業計画区域

ここでは、下水道事業における、雨水の事業計画区域のこと。

④雨水出水浸水想定区域

想定し得る最大規模の降雨により排水施設に雨水が排除できなくなった場合などに、浸水が想定される区域、想定される浸水の深さや浸水が継続する時間等を公表するもの。

【問】 今後の考えは。
 【答】 5年度に指定する雨水出水浸水想定区域や、6年度以降に策定する内水ハザードマップの情報などを活用し、市全体での浸水対策事業の検討に役立てたい。関係部局とともに調査研究を進める。

⑤ZEB(ゼブ)

Net Zero Energy Buildingの略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを目指す建物のこと。



【問】 4年4月の脱炭素化の推進方針を踏まえ、その後の事業計画で検討しているものは。
 【答】 一宮地区公共施設再編整備事業では、5年3月の基本計画にZEBに配慮した取り組みを位置付けている。本庁舎等整備事業では、基本構想等の中でZEB化の実現を検討する。

⑥愛知コミュニティリバー推進事業

県が河川の草刈り作業の一部を地域の団体へ委託する事業。

⑦河川法

第27条に、土地の掘削等許可が規定されており、第1項に、河川区域内において土地の掘削や植樹等をしようとする者は、河川管理者の許可を受けなければならないことが定められている。

【問】 アフターコロナの観光PR施策の課題と今後の取り組みは。
 【答】 豊川稲荷以外の観光地への誘客や通年での誘客、外国人向け観光コンテンツの開発や情報発信が課題。大型商業施設を活用した市内周遊策やSNSの有効活用に取り組む。

【問】 大雨に対する市の浸水対策事業は。
 【答】 雨水排水管やポンプ施設のほか、雨水浸透トレンチ管や浸透升、公園内の浸透施設などを整備している。

【問】 個人敷地からの雨水流出抑制の施策は。
 【答】 雨水貯留タンク

【問】 公有地や公共施設の地球温暖化対策は。
 【答】 再生可能エネルギーの導入推進施策として、新築時等の太陽光発電システムの導入、清掃工場での廃棄物焼却による発電等、燃料電池等の導入検討、未利用地への太陽光発電所の設置運営事業者の

【問】 公共施設における太陽光発電設備導入に向けた取り組みは。
 【答】 設置費用を業者が負担し、発電した電気のうち、施設利用分の電気料を業者が受け取るPPAモデルの導入を調査研究している。

【問】 愛知コミュニティリバー推進事業についての認識は。
 【答】 地域の連帯感や川を通じた町への愛着の深まり等が考えられ、地域との協働としても有意義な活動と認識。

【問】 佐奈川の桜の今後の課題は。
 【答】 今ある桜の保全、延命が課題。県が行う河川改修に合わせて、河川法等に適合した箇所への新たな植樹等を県と検討する。今できることとして、樹勢回復につながる施策を検討し、他の河川の桜の再生も考えつつ、市民協働で桜の在り方の議論が必要と考える。



松 下 和 司

浸水対策の現状と課題、取り組みについて



深 谷 崇 允

公共施設の脱炭素化対策について



鈴 木 佳 孝

市内を流れる河川の管理について





インボイス制度導入への
対応について

林 正子



【問】インボイス制度の概要は。

【答】複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式で、5年10月から開始される。制度導入後は、税務署長の登録を受けた発行事業者が買い手に交付するインボイスを、双方が保存することで税額

控除が適用される。

【問】国による支援は。

【答】免税事業者との取引における6年間の税制上の経過措置や、インボイス発行事業者になった場合の納税額の軽減など、さまざまな支援策がある。

【問】市としての支援の考えは。

【答】国税に関する制度のため、独自の支援措置を行う考えはない。引き続き、税務署等に協力しながら、制度の周知に努めていく。

【問】制度の中止を国に訴える考えは。

【答】考えはない。制度開始による影響について注視していく。



小中学校での学校事故・
公共事業の支払い事務について

倉 橋 英 樹



【問】小中学校におけるのがの総数は。

【答】日本スポーツ振興センターの災害共済給付金を申請した件数は、4年度は718件。

【問】学校スポーツトレーナー活動の効果を検証し、本格導入に向けて考えていかないか。

【答】市のスポーツ医療・健康アドバイザー派遣事業や、県の出前講座にあるのが予防のプログラムを周知し、今後の指導に生かすことも検討していく。

【問】日付なしの請求書の提出を市に指導されたとの情報が業者からあった。市の認識は。

【答】工事などの完了検査の資料提出時に請求書を持ち込む業者があり、日付が未記入のまま預かることがある。

【問】請求書に日付を入れて提出するよう徹底すべきではないか。

【答】請求日以前の請求書の受け取りは不適切。適切な事務が行えるよう周知徹底を図る。



⑧学校スポーツトレーナー活動

豊橋市で実施している事業で、陸上競技や器械体操のような種目において、スポーツトレーナーが走り方のコツや運動の基本的な動きを指導している。



6月2日の豪雨被害による教訓
から、防災対策の改善について

安 間 寛 子



【問】風水害時の指定避難所の雨漏り、エアコン未整備の状況は。

【答】一部の施設で雨漏りの報告があったが、運営に支障はない。エアコンが未整備なのは、小学校体育館と長慶寺。

【問】子ども・市民の命を守るため、学校体育館へのエアコン設置

を最優先する考えは。

【答】市全体で計画されている事業を、優先度を総合的に判断して進める必要がある。現在、設置予定はない。

【問】PFASに関する公共用水域・地下水の水質調査の結果は。

【答】県の3年度の調査では全て基準値以下。

【問】上水道での水質調査の結果は。

【答】4年度の調査では、全て国の暫定目標値を下回っていた。

【問】消火剤としての使用状況は。

【答】消防本部では、3年度に全て廃棄処分。自衛隊駐屯地及び事業所での使用情報はない。

⑨PFAS

何千もある有機フッ素化合物の総称。このうち、PFOS及びPFOAの2種類の物質は、環境中で分解されにくく、高い蓄積性があることから、国内外において製造・使用等が規制されている。公共用水域等や水道水における暫定目標値は、1リットル当たり50ナノグラム。

⑩ゲート

ここでは、雨水排水路と白川との合流部にあるフラップゲートのこと。排水路の水位が川より上昇した際には、水圧でゲートが開き、逆に、川の水位が排水路より上昇した際には、水圧でゲートが閉じる構造。

⑪雨水管理総合計画

浸水対策を実施する上で、当面・中期・長期での対策を実施すべき区域や、目標とする整備水準等を定めることで、対策を計画的に進めることを目的とするもの。

⑫雨水出水浸水想定区域

(9ページの語句説明④に同じ)

【問】 6月2日豪雨における八幡駅周辺での内水氾濫の際に、排水は白川へ流れたのか。
【答】 雨水排水路と白川の水位上昇のため、排水されにくい状況だったと考えられる。

【問】 ゲートの点検はされているか。
【答】 年に1回、目視で実施。7月の点検で損傷等はなかった。
【問】 雨水管理総合計画を作成し、総合的な対策を進める考えは。
【答】 雨水出水浸水想定区域の指定を行い、内水ハザードマップの作成と併せて、計画についても関係部局と検討していきたい。

【問】 学校給食無償化の県内の状況は。
【答】 期間限定で行っている市を除き、安城市のみが実施。
【問】 無償化の実施や、国へ働きかける考えは。
【答】 無償化の予定はない。市長会等を通じて、国へ無償提供の制度化を求めていく。

⑬要配慮者

災害対策基本法では、「高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者」と定義されている。「その他の特に配慮を要する者」は、妊産婦、外国人、医療ニーズの高い方などが想定される。



【問】 指定避難所に配慮を必要とする市民が避難した場合の対応は。
【答】 立場に合わせた配慮ができるよう、福祉スペースを設ける。
【問】 要配慮者に対する災害への備えは。
【答】 要配慮者のうち、特に支援を要する避難行動要支援者の円滑な

【問】 6月の大雨災害時の計画の活用状況は。
【答】 地域支援者からの安否確認により、地域での顔の見えるつながりができたと考えられる。
【問】 計画作成における6年度以降の予定は。
【答】 6・7年度は、未作成の障害者・高齢者285名ほどのうち、同意が得られた方の計画を作成していく。

⑭道連れ工事

ここでは、浸水被害によりぬれたグラスウール断熱材を取り除く際、石膏ボードや合板などの内装材を取り外し、新たに施工し直すなど、当該部位以外の部位の損傷を補修するための工事のこと。

【問】 道連れ工事の被害判定への影響は。
【答】 道連れ工事に伴う損傷は、木造・プレハブの住家の内壁及び床の損傷に含め、被害判定に加算している。
【問】 罹災証明書交付に伴う被害認定調査において、内部立ち入り調査を一部怠ったと指

【問】 今回の調査に対する市の認識は。
【答】 被災者の負担軽減を考えてのことだが、寄り添う気持ちに欠け、反省すべき点と認識。
【問】 再調査の状況は。
【答】 8月22日までに43件実施。多くは、日数の経過により新たな被害が判明した事案。



佐藤 郁恵



八幡駅周辺等の水害対策について



八木 月子



要配慮者に対する災害への備えについて



遠山 剛



浸水被害後の生活再建について

⑮西尾市の取り組み

市内の民間保育所等で保育士等として働く者のために、就職準備金を貸し付ける制度。卒業後ただちに、市内の民間保育所等で2年以上勤務すれば返還が免除される。



【問】西尾市での取り組みのように民間保育所等の保育士採用を支援する考えは。

【答】先進事例の一つとして研究している。民間保育所等における採用の支援は、3歳未満児の受け入れ拡充に効果があると認識しており、引き続き、研究・

も拡充に努めていく。

【問】3歳未満児の保育料無償化の事業費と、実施の考えは。

【答】4年度決算ベースで、新たに約3億2千万円が必要。国の子ども未来戦略方針で示される具体的な取り組みなどを踏まえながら、注視していく。



建て替えが予定される御油生涯学習センター

【問】コミュニティの活性化を図るための主な施設の位置付けは。

【答】地区市民館は、連区または小学校校区を単位として28館、生涯学習センターは、中学校区単位を基本として9館設置している。

【問】生涯学習センターの整備方針は。

【答】6年2月に移転予定の、現ひまわり農協御油支店用地等取得して整備する案について、5年6月に近隣住民向け説明会を実施し、理解を得た。

【問】改築の方針は。

【答】浸水対策や貸し部屋の機能面等の検討を行い、若年層を含めた幅広い年代に親しまれる施設整備を進める。

⑯営農型太陽光発電の一時転用許可

営農型太陽光発電とは、農地に支柱を立てて、支柱部分のみ農地の一時転用を行い、上部空間には太陽光発電設備を設置し、太陽光を農業生産と発電とで共有する運営体制のこと。一時転用許可には、下部の農地での営農の適切な継続が確実であることなどの要件があるが、要件を満たさない場合でも改善の意思を示すことで許可される場合がある。

【問】魅力ある農業についての戦略は。

【答】収益性の高い施設園芸作物のノウハウを持った農業経営者が多いことを活用し、関係機関と連携しながら、担い手確保策として発信できるように検討する。

【問】営農型太陽光発電の一時転用許可に係

る農業委員会の対応は。

【答】県への許可進達に当たり、申請内容を審議している。許可要件のうち、過去に、営農の適切な継続が確実にあるとの要件を満たさず、許可後も改善されない案件がある場合、その状況を意見書として付して進達するほか、継続的に指導を続ける。

【問】霞堤地区の安心を担保できるよう、基金を創設する考えは。

【答】防災基金は2億円ベースだが、6月の豪雨災害によるごみ処理などで6千万円以下に減っている。広く対応できるよう、ベース金額の増額を検討する。



とみひろ
田田 潤



3歳未満児の受け入れ拡充と保護者負担の軽減について



きよたか
本本 朗善



地域コミュニティにおける拠点の役割と機能について



いま
泉 淳 乙



本市の農業について

Q 委員会とは？

A 議員全員が参集する本会議の下審査機関として、専門的・能率的な審査や、重要な事柄についての調査をするための会議です。



常任委員会

部門別に、本会議から付託された議案や送付された陳情の審査、所管する事項の調査などを行う委員会です。以下の4つの委員会があります。

- 総務委員会：危機管理課、企画部、総務部、財務部、消防本部、他の委員会の所管に属さない事項に関すること
- 福祉委員会：福祉部、子ども健康部、市民病院に関すること
- 市民文教委員会：市民部、教育委員会に関すること
- 産業建設委員会：産業環境部、建設部、都市整備部、上下水道部に関すること

特別委員会

常任委員会とは別に、市の重要な課題など特定の事柄について、専門的に審査や調査を行う委員会です。政策課題調査特別委員会、予算特別委員会、決算特別委員会があります。

こんなことを聞きました

委員会で行った調査について、主な質疑・答弁を掲載します。

市本庁舎の目指すべき方向性などを定める

政策課題調査特別委員会 9月12日

本庁舎等整備基本構想（案）

本庁舎等整備基本構想（案）について説明を受けました。
主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】 新本庁舎の位置の検討内容は。

【答】 仮設庁舎の必要性、既存の庁舎間の連絡、駐車場の規模と配置などについて、メリット・デメリットを比較検討し、費用対効果などを総合的に勘案した上で、基本計画の中で最適なプラン案を決定していく。

【問】 合併推進債が主な財源とのことだが、ほかに考えられる財源として国・県の補助メニューはあるか。

【答】 国庫補助金などの活用による財源確保に努め、一般財源の負担を軽減させるあらゆる検討を行う。なお、施設のZEB化を進める場合、補助制度があることを確認している。今後、検討を進める中で、ほかにも活用できるメニューがないか確認しながら進めていく。

【問】 3年度の構造体耐久性調査では、平

成26年度の調査と比べ、どのように劣化が進行しているか。

【答】 コンクリートの劣化を示す中性化が3（中度）から4（重度）に、圧縮強度が1（ほとんどなし）から2（軽度）に進行している。

残存耐用年数は、最初に調査した平成26年度から起算すると残り11年程度未満である。

【問】 新庁舎整備工事で想定される施工業者の選定方法は。

【答】 本市では、一般的に制限付き一般競争入札を採用している。その制限の内容は、工事内容や規模などが決まり次第、決定していくことになる。

①ZEB(ゼブ)：Net Zero Energy Buildingの略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギー収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。



現在の市役所本庁舎

国・県からの通知に基づき調査を実施

産業建設委員会

9月11日

所管事務調査

大規模盛土造成地変動予測調査(第二次スクリーニング計画策定業務)の結果

大規模盛土造成地変動予測調査(第二次スクリーニング計画策定業務)の結果について説明を受けました。
主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】 計画作成方法の詳細は。

【答】 国のガイドラインに基づき、大規模盛土造成地の基礎資料整理と現地を調べた。その情報を基に優先度評価を行い、宅地カルテを作成した。

【問】 61力所全ての盛土が経過観察となつたが、経過観察の方法は。

【答】 優先度の高い17力所で毎年、それ以外の44力所は5ブロックに分け、年に1ブロックごとに行う。また、大きな地震や警報級の大雨の後に、優先度の高い17力所について、随時点検を行う。

【問】 調査結果を踏まえた大規模盛土についての考えは。

【答】 今回、全てが経過観察となつたが、安全性が確認されたものではない。経過観察による変状進行の継続的な把握と、変状が確認された際の円滑な対応が重要であると考ええる。

その他6月定例会後に開催された委員会

7月24日 福祉委員会 所管事務調査「5年度国民健康保険料」

陳情を審査しました

陳情第10号 私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために豊川市の授業料助成制度を維持し、拡充を求める陳情

陳情者代表 熊谷 弥生

結果 陳情第10号は、市民文教委員会において、「趣旨採択」と決定。

陳情第11号 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 熊谷 弥生

陳情第12号 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

陳情者代表 熊谷 弥生

結果 陳情第11号、陳情第12号は、各派交渉会において、「聞きおく」と決定。

※ 国や県に対して意見書の提出を求める陳情などは、申し合わせにより各派交渉会において「聞きおく」とし、全議員にその写しを配付します。そこで「聞きおく」とされた陳情のうち、陳情内容により意見書や決議の発議が必要と各会派が判断した場合、定例会の中日の前日までに案を添えて議長に申し出ることになっています。今期定例会において、申し出はありませんでした。

行政視察の受け入れを行いました

5年7月10日 静岡県富士市議会
「豊川市民病院人材育成計画について」

5年7月11日 愛知県岡崎市議会
「牛久保防災まちづくり地区計画の策定について」

市議会では、市の各種施策について、全国の議会関係者の皆様からの視察の受け入れを行っています。
この度の視察では、事業の概要等の説明後、質疑応答を行い、貴重な意見・情報交換の場となりました。
豊川市にお越しいただき、ありがとうございました。



7月10日 富士市議会
市民病院にて



7月11日 岡崎市議会
牛久保生涯学習センターにて

総務委員会



川西市議場にて

- 7月 26日 兵庫県川西市 PFI手法の活用
- 7月 27日 兵庫県姫路市 マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化、ひめじ防災プラザ
- 7月 28日 兵庫県神戸市 防災におけるドローンやICTの活用

川西市では、施設の老朽化や耐震問題、厳しい財政状況などの課題を抱える中、効率的・効果的な方法で、市民サービスの価値向上を図る事業手法として、PFIを積極的に活用しています。平成24年度から取り組みを開始し、今では、複合施設や学校、公営住宅など、さまざまな実績を有しています。本市において、今後、複数の建設事業の計画を進めていく上で、大変参考になりました。

(不参加委員：倉橋)



福祉委員会



町田市議場にて

- 8月 2日 岩手県盛岡市 重層的支援体制整備事業
- 8月 3日 東京都板橋区 板橋区発達障がい者支援センターあいポート
- 8月 4日 東京都町田市 認知症フレンドリーなまちづくり

町田市では、「認知症とともに生きるまち」を目指すべき姿とし、行政・企業・市民が関わりながらさまざまな施策を行っています。市内の図書館や書店に認知症に関連するさまざまな本を集めた特設コーナーを設置し、認知症に関する本を探しやすくするとともに、理解促進を図る「Dボックス」や、幅広い世代が利用するコーヒーチェーン店の協力を得て、その店舗を利用した認知症カフェ（Dカフェ）を開催するなど、先進的な取り組みは大変参考になりました。



市民文教委員会



吉祥寺南町コミュニティセンターにて

- 8月 3日 東京都調布市 不登校児童・生徒に対する支援、インクルーシブ教育
- 8月 4日 東京都武蔵野市 コミュニティ構想・施策

武蔵野市では、町内会の仕組みがなく、公設民営のコミュニティセンター（市内19館、分館含む）を拠点に、独自かつ自由なコミュニティづくりを行っています。「市民が主体」で「行政は支援」という特徴から、地域活動の新たな視点を獲得することができました。また、各世代に向けた参加促進の周知・啓発方法や、コロナ禍におけるICT活用、在宅ワークの普及により地域への関心が高まった現役世代との連携の取り組みなど、本市の効果的なコミュニティ施策の展開に向けて、大変参考になりました。

(不参加委員：佐々木)



産業建設委員会



品川区防災センターにて

- 7月 26日 福島県南相馬市 福島ロボットテストフィールド
- 7月 27日 長野県佐久市 佐久平ハイウェイオアシス
- 7月 28日 東京都品川区 AIを活用した道路日常パトロールシステム

品川区では、道路点検パトロールについて、通報件数の増加により点検業務が適正に行いにくくなってきたことなどから、元年度よりAIを活用した道路点検パトロールを実施しています。AI搭載のドライブレコーダー等で損傷を検出できるほか、日々のデータでAIが学習するため、さらに精度が向上し、効率的な道路点検が可能になっています。本市では本年7月に導入したばかりで、先進地における状況や課題等は大変参考になりました。



令和5年 第4回定例会

次の定例会の
予定だリン☆



©いなりん

会期日程予定

11月	30日	(木)	開会・議案説明	13時 30分	📡
12月	5日	(火)	代表・一般質問	10時	📡
12月	6日	(水)	一般質問	10時	📡
12月	7日	(木)	一般質問	10時	📡
12月	11日	(月)	議案付託・一部採決	13時 30分	📡
12月	13日	(水)	常任委員会(議案審査)	10時	
12月	14日	(木)	常任委員会(議案審査)	10時	
12月	18日	(月)	討論・採決・閉会	13時 30分	📡

📡マークの日はライブ中継を配信しています。
日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

市議会は傍聴できます！

市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。

会議の開催日をご確認のうえ、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しください。



本会議は、インターネットでライブ中継・録画配信を行っています。ご利用方法は、6ページをご覧ください。

議会だよりの 表紙写真募集



議会だよりの表紙に写真を掲載してみませんか。風景や各種イベントなど、市内で撮影された写真(未発表のものに限ります。)を広く募集しています。

なお、撮影された本人または対象物の所有者の承諾が得られているものに限ります。

また、お寄せいただいた写真は、表紙以外の箇所に掲載させていただくことがあります。

【応募方法】

題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までお送りください。(直接持ち込み可)

e-mail gikai@city.toyokawa.lg.jp

豊川市議会公式 Facebook



上のQRコードからアクセスできます。

豊川市議会公式 Facebook

市議会の活動をより身近に感じていただけるよう、議長の公務の様子や本会議、委員会の内容などを、写真を交えて発信しています。



スマートフォンなどへ、豊川市議会だよりを配信しています。

左のQRコードからアクセスできます。

広告

財源確保のため、有料広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へ。

相続や不動産のことでお悩みの方！
お気軽にお電話ください。

名義変更
したいけど...
登記って
なんだろう？



運営した方が
いいのかな？



司法書士・土地家屋調査士・行政書士
古谷合同事務所
豊川市諏訪2丁目319番地
TEL 0533-85-1833

議会だよりの有料広告を募集しています！

掲載料 1枠1号 20,000円(2月1日号)

応募方法 豊川市ホームページの「市議会ホームページ」に応募方法を掲載しています。申込書等をダウンロードし、必要事項をご記入いただき、議会事務局へご持参ください。また、議会事務局でも申込書等を配布します。

問い合わせ先：議会事務局 0533-89-2150

発行／豊川市議会 編集／議会だより編集委員会
お問い合わせ先／豊川市議会事務局
〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地 電話0533-89-2150

豊川市のホームページで
「議会だより」がご覧になれます

豊川市議会だより